市民ワークショップ報告書（案）

１．ワークショップ概要

（１）趣旨

現在、枚方市環境審議会環境基本計画策定部会において、新たな環境基本計画の策定に向けた検討を進めている。枚方市らしい計画にするため、市民の生の声、特に今後を担っていく若年層が、枚方市の環境についてどのように感じているのかを聴取する機会を設け、「枚方市の環境の現状」や「将来、住み続けたい枚方の環境」などについての意見を得るためにワークショップを実施した。

（２）実施概要

日時		2019 年 9 月 21 日（土）　13：00～15：45
場所		枚方市役所　別館 4 階　第 3、4 委員会室
参加者	対象者	枚方市内の高校に在学している生徒（27 名） ・大阪府立枚方高等学校（生物飼育部 11 名、有志 6 名） ・大阪府立枚方なぎさ高等学校（科学部 5 名） ・大阪府立長尾高等学校（理科研究部 4 名） ・東海大学付属大阪仰星高等学校（有志 1 名） ※参加いただいた高校生の半数が枚方市民でした。
	アドバイザー	大阪産業大学　デザイン工学部　環境理工学科　花田眞理子教授
	グループリーダー	大阪産業大学学生（6 名）
	ファシリテーター	株式会社総合環境計画
	事務局	枚方市環境保全課
ワークショップの形式		6 グループ（5~6 名）でのグループディスカッションおよび発表

（３）ワークショップの進め方

【開会・導入説明】

枚方市の環境の状況などについて

【グループワーク】

①自己紹介、役割分担

②「関心のある環境問題や枚方の環境について思うこと」の意見出し、まとめ

③各グループ中間発表、情報共有

④「将来、住み続けたい枚方の環境」、「自分たちにできること」の意見出し

⑤グループ発表

⑥ワークショップ総評

【アンケート記入・閉会】

参加者アンケート記入後、終了

２．ワークショップまとめ

●「関心のある環境問題や枚方の環境について思うこと」

・関心のある環境問題としては、マイクロプラスチックなどの海洋汚染の問題、外来生物の増加や森林破壊などの自然環境に関する問題、地球温暖化による海面上昇などといった地球規模の環境問題に関する意見も出されたが、枚方市の暑さ、アライグマなどの外来生物の増加や市域の自然環境の状況など身近な自然環境の変化、まちなかのごみのポイ捨てなど、これまでの生活経験に基づいた意見が多く見られた。

・枚方の環境について思うことについては、川の水が綺麗、ホタルがいる、たくさんの人が環境を大切にしようとしているなどといった枚方の環境で良いと感じることも意見として出されたが、公園でのハトや野良猫への餌やり、焼き畑での煙、お祭りごみや河川のごみ、国道 1 号線の交通量の多さ、公共交通機関の本数を多くしてほしいなど、改善してほしいと感じることについての意見が多く見られた。

●「将来、住み続けたい枚方の環境」

・外来生物を減少させて在来生物を増やしていくことや緑の保全、まちなかの緑化など、人と自然が共存できる自然環境が確保されたまちを望む意見が多くあったが、これにあわせて、快適な気温とともに、公共交通機関の充実、まちなかのきれいさなど、都市環境の利便性・快適性を求める意見が多く得られた。

・交通安全のために信号機を増やして欲しい、条例などに縛られずあそべる公園が欲しい、自然が豊かな場所があって欲しい、ポイ捨てがなくきれいなまちであって欲しいなど身近な生活環境が確保されたまちを望む意見も多く見られた。

●「自分たちにできること」

・まずは自分たちの身の回りということで、ポイ捨てはしない、ごみは分別する、ごみ拾い活動への参加、レジ袋を断るといったゴミに関する活動が非常に多かった。他にも節電に取り組む、打ち水をする、ジャンボタニシなどの外来種を見かけたら駆除するといった意見もあった。

・枚方の環境について自主的に学ぶだけでなく、環境に関することをいろんな人たちと情報共有することで、環境に興味を持ってもらうといった、人材育成に関する意見も得られた。

今後を担っていく若年層は、将来の枚方市の環境について、豊かな自然環境を確保していくことと同時に、利便性の高い都市環境やポイ捨てのないきれいなまちにしていきたいと考えていることがわかった。

３．参加者アンケートまとめ

ワークショップは、身の回りの環境の状況について情報交換を行い、環境問題を身近な枚方の環境として考えることで、将来の枚方市の環境をイメージしたうえで、自分たちに何ができるか考えてもらう機会を創出するものである。

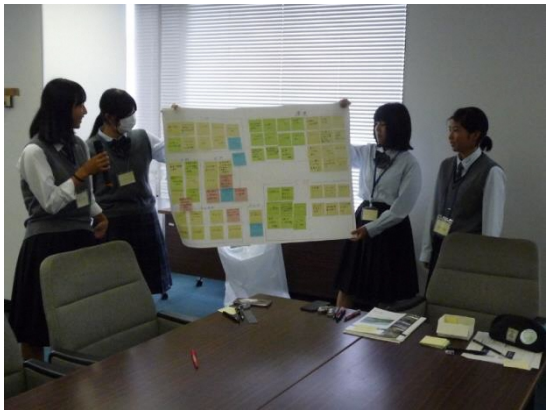
アンケートの感想を見ると、環境に関する意識の高揚や今後の生活への実践に繋がったのではないかと考えられる。

また、普段接することのない大学生や他校の生徒と様々な意見交換をすることで、自分では思いつかないことを考える良い機会となったという意見や、またこのようなワークショップを開催してほしいという積極的な意見も得ることができた。

４．当日の様子

（１）グループ討議

（２）グループ発表



（３）総評

５．グループワークでの意見

【A グループ】

〇資料概要

	関心のある環境問題や 枚方の環境について思うこと	将来の枚方市	自分たちにできること
川	・川の水が綺麗 ・水の透明度が高い ・川にごみが多い ・水質汚濁（ゴミ）		・ゴミを分別して捨てる ・自販機のゴミ箱を減らす ・道とかにゴミがあったら捨ててあげたりする ・ゴミ拾い
生物	・山にホタルがいる。 ・外来種が多い ・在来種の減少	・自然に関するイベントの開催 ・里山の環境の持続 ・自然が身近に感じられる枚方市	・自然の伝承
都市	・地球温暖化 ・都市開発 ・都市部に人が増えた	・自転車が通れる道があったらいいな ・自転車が通りやすい道になればいい	・涼しくなるアイテムを活用してもらう
その他	・枚方市はなんでこんなに暑いのか ・たくさんの人が環境を大切にしようとしている ・木とか自然が多いなとおもう ・都会もあるしきれいな里山も残ってる。		・一人ひとりが環境に目を向ける ・枚方の環境の状態を伝える ・エコ意識を持つ ・リサイクルとかできたらどんどんする

〇発表概要

・里山環境など自然環境を保全していくことが大事。
・一人一人が環境に興味を持つように、情報発信して広めていきたい。
・川にゴミが多いのでみんなできれいにしていくことが大事。

【B グループ】

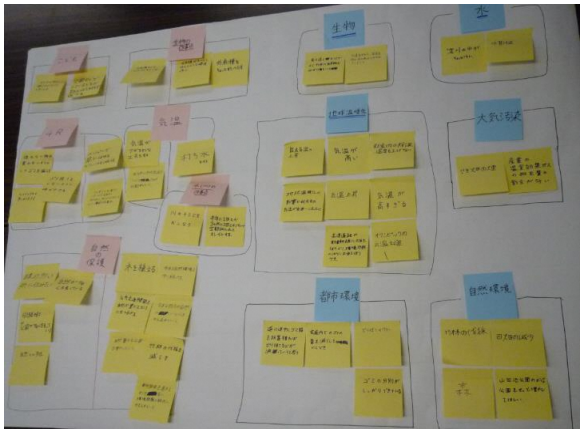
○資料概要

	関心のある環境問題や 枚方の環境について思うこと	将来の枚方市	自分たちにできること
自然	・緑が多いから虫（蚊も）多い ・天の川にもジャンボタニシ増えている ・緑のある所とない所の差が大きい	・都市部にみどりを置いてみる	・ジャンボタニシの卵を見つけたらつぶす ・ボランティアで掃除を手伝う ・雑草は刈る
ゴミ	・ハトがいっぱいいる公園で、たべかけのパンを捨ててた。 ・国道 1 号線の下と天の川には空き缶が多い。	・ゴミ箱を増やす	・買ったものは食べきる ・地域の人はごみ拾いの活動をする ・地域の学校で川や町をきれいにする授業をする。
動物	・野良猫がいっぱい ・山田池公園にもたくさんいる ・野良猫にエサあげないでという看板があるのにエサあげてる。	・野良猫が増えるとトラブルになるので、去勢したり保護したりする。	・エサをあげたなら、エサのごみは自分で捨てる。 ・動物は捨てない
交通	・一号線の交通量が多い。	・歩行者用の信号機を増やして欲しい。 ・歩車分離式の信号を増やして事故を減らす。	

○発表概要

・野良猫やハトに餌をあげている人が多いけどマナーとかどうにかならないか。
・ゴミのポイ捨てが増えないように、ゴミ箱の数を増やしたらよいのではないか。
・一号線の自動車交通量も多いが、ほかの道路も多くて危ないので信号を増やしてほしい。

【C グループ】



○資料概要

	関心のある環境問題や 枚方の環境について思うこと	将来の枚方市	自分たちにできること
生物	・家の近くの川でよく外来生物を見かける ・外来生物に、在来生物の住処が奪われている。	・外来種をちょっとずつ減らす。 ・在来種がたくさんすめるような環境づくり	
水	・淀川の水がちょっと汚い ・水質汚染	・定期的に水をきれいにする	・川の掃除をする
地球温暖化	・最高気温の上昇、気温が高い ・オリンピックの気温対策 ・高速道路や新幹線にお金を使うより、環境問題に使う	・枚方市の気温を下げる取り組みを進める	・打ち水する ・気温が下がるような工夫をする
大気汚染	・焼き畑の煙 ・産業の温室効果ガスの排出量の割合が多い		
都市環境	・道の途中にゴミ箱を設置すればポイ捨てなどが減っていくと思う。 ・家庭内でのゴミの量を減らしていくべき。 ・ポイ捨てが多い ・ゴミの分別がしっかりできている	・こどもが公園で条例に縛られず遊べる。 ・こどもが外で遊べるところをつくる。	
自然環境	・竹林の伐採 ・田畑の減少 ・森 ・山田池公園のような公園をもっと増やして欲しい	・自然との共存 ・緑の多いところに住みたい ・街路樹や公園が多く残ってる	・木を植える ・今ある枚方の自然の良いところを広めていく。 ・公共交通機関を自然の豊かなところにも繋げる。

○発表概要

・子供が自由に遊べる場所が減ったので、遊べる場所が増えてほしい。
・外来種をよく見かけるので、ちょっとずつ減らして在来種がすめる環境づくりをしてほしい。
・一号線の自動車交通量も多いが、ほかの道路も多くて危ないので信号を増やしてほしい。

【D グループ】

〇資料まとめ

	関心のある環境問題や 枚方の環境について思うこと	将来の枚方市	自分たちにできること
地球温暖化	・毎日暑い ・海面上昇 ・温度が上がって植物のサイクルが変化	・自然災害に強いまち	・節電、節水
森林伐採	・緑が減っている ・動物が街に出てくる ・野生生物が少ない ・遊べる自然が少ない	・自然の増加 ・人と自然の共存 ・遊べる川や山が欲しい	・植林活動への参加
外来種	・外来種の流入 ・身近に外来種だけどきれいな植物がある。	・在来種が多い川 ・外来種も有益に使って欲しい	・外来種食べる ・外来種を購入しない
ごみ	・ポイ捨てゴミが多い ・マイクロプラスチック	・まちなかがきれい ・まちなかにゴミ箱の設置 ・ゴミが少ないきれいなまち	・リサイクルに出す。 ・エコバック使う。 ・ポイ捨てしない、なくす ・分別の徹底 ・ゴミ拾い
ふん公害	・鳥がいっぱい近くに来る ・カラスが農作物を食べる	・カラスのゴミ荒らし対策	
その他	・事故が多い ・天野川の水がきれい ・鯨の打ち上げ ・田畑の減少 ・豚コレラの拡大	・都市と緑地の多いところを分ける。 ・動物と人の場所を分ける ・道路整備 ・幼稚園や小学校の増加 ・騒音が少なくなって欲しい	・自分の住んでるところの環境について学ぶ ・たくさんの人が環境問題を知ってくれるようアピールする

〇発表概要

・外来種が多くなっているので、例えば食べられるようにするなど有益に使ってほしい。
・ポイ捨てゴミが多いので、ゴミ箱を設置してすれば少なくなるのではないか。
・まずは自分たちが環境について学び、情報発信していけるようになりたい。

【E グループ】

〇資料まとめ

	関心のある環境問題や 枚方の環境について思うこと	将来の枚方市	自分たちにできること
ごみ	・お祭りのときのゴミ ・ゴミのポイ捨て ・ゴミのリサイクル ・海洋プラスチックごみ問題	・ごみが落ちていない ・定期的な地域の清掃 ・みんなでごみ拾いするまち	・ポイ捨てしない ・ごみの分別 ・レジ袋・ストロー断る ・地域にある学校等でごみ拾いを定期的に実施
生物	・野良犬、野良猫の増加 ・外来種の増加による在来種の減少と生態系の崩壊 ・枚方の絶滅危惧種の増加 ・飼えなくなったペットを放す飼い主 ・枚方高校の生物飼育部で絶滅危惧種の繁殖に成功	・外来種がいない ・珍しい生物が珍しくなくなっているまち ・生物が暮らしやすいまち ・人と生き物が共存できる。 ・昔のような生態系の回復	・外来種駆除 ・外来種買うなら責任を持つ ・ペット飼うなら責任持つ ・人工繁殖 ・定期的な生態調査
自然	・木の伐採で森が少ない ・野生生物と人との距離の急接近 ・四季折々の綺麗な場所がある ・百済時跡の森林 ・駅の周りに植物や公園がある	・道沿いに木がある ・少し遠くに歩けば自然が豊かな場所がある。	・森林緑化活動への参加
地球環境	・地球温暖化を少しでも止める方法 ・駅のロータリーに気温が書いてある。	・空気が綺麗	・車の排気ガスで地球温暖化や大気汚染に繋がるから自転車に乗るようにする。
その他	・自動販売機やコンビニが多く景観が悪くなる。 ・駅から市役所が見えるので向かいやすい	・歴史を感じるまち	

〇発表概要

・駅のロータリーに温度計があるけど、夏はいつも表示温度が高いので地球温暖化対策が大事。
・ゴミが多いのでポイ捨てしないのは当たり前で、レジ袋を断るようにしたい。
・外来種も減らしていきつつ、人と生き物が共存できるような環境になれば。

【F グループ】

〇資料まとめ

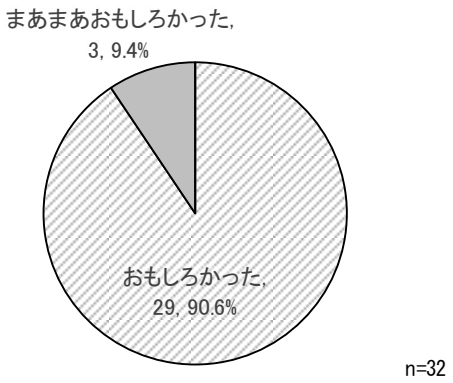
	関心のある環境問題や 枚方の環境について思うこと	将来の枚方市	自分たちにできること
地球温暖化	・気温が高い ・ゲリラ豪雨	・快適な気温 ・バスの本数を増やしてほしい。	
生き物	・外来種の魚やカメが多い ・在来種の数や住みかが減る	・イタセンパラが川に戻ってきて欲しい ・在来種が増えて欲しい ・山奥に行かなくてもホタルを見たい ・自然が豊か ・外来生物捕まえたら賞金 ・山に開拓しない部分作る	・外来生物を逃がさない
ごみ	・家の近くのため池が汚い ・川のごみ ・なぎさ高校隣のごみの山 ・たばこの吸い殻ごみが多い ・ポイ捨てが多い ・田んぼにガラスごみ捨てる人がいる ・カラスにごみが荒らさせている。	・川がきれい ・ごみを減らしたい。 ・道が綺麗になってほしい ・ポイ捨てが少ない。	・エコバックを持ち歩く ・カラスに荒らされないようにネットやかごに入れてごみを出す。 ・紙袋を普及 ・紙・ストローをもっと普及させる。 ・レジ袋を値上げ ・ごみ拾いのイベントを開催
その他	・夜中のバイクがうるさい	・公共交通機関を整備して欲しい。	

〇発表概要

・地球温暖化対策として、バスの本数多くして乗ってもらうようにしたらよいのでは
・ブルーギルなど外来種が多いので、外来生物捕まえたら賞金みたいな制度があってもよいのでは。
・プラスチックではなく紙製のゴミ袋を普及すればよいのではないか。

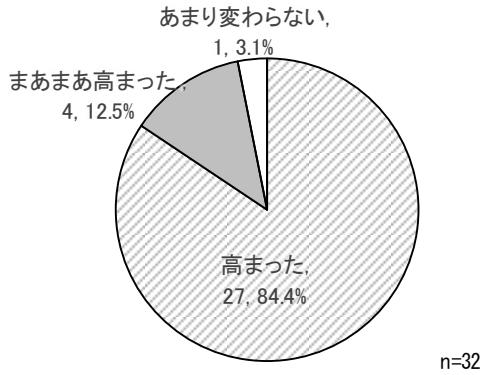
６．参加者アンケート結果

問1：本日のワークショップはいかがでしたか？



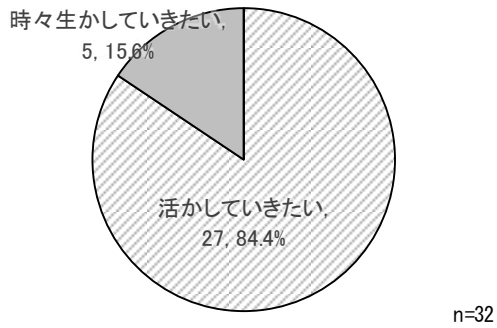
・さまざまな視点の意見を聞けて、考えることができたから。
・他高の生徒や大学生と話す機会になったから。
・普段では考えないようなことをグループで話し合って様々な意見に触れることができたから

問2：本日のワークショップに参加することで、環境に関する意識は高まりましたか



・自分たちにできることが身近にあることを知れたし、具体的に何をすることができるのかも学べたから。
・実際起こっている問題を口に出すことで意識が高まった。
・ワークショップで楽しく情報交換し合い、考えることで、授業で学ぶときよりも、環境についての意識が高まると感じた

問3：本日のワークショップでは、今後の活動に活かせそうな内容がありましたか。



・家に帰っている最中になど、できることはたくさんあったので、少しでもやっていきたいと思ったから
・袋についてのことは自分も実践することができるのでこのことについて活かせて行けたらいいなと思ったから。
・もっといろいろな人に知ってもらうためにクラブ等の大きな団体を通して広めたい

質問4その他、ご感想、ご意見をお書き下さい。

・これからもこのようなワークショップや、イベントをやってほしいなと思います。ありがとうございました。
・みんなで環境について考えていくのが楽しかった。環境について知れてよかった。
・あまり自分の住んでいる地域の環境について深く考えたり、人の意見を聞いたことがなかったので聞けて良かった。
・まだまだ自分たちが自然に対してできることがあるのだと思い、これからも自然を大切にしていきたいと思いました。